

国際ソロプチミストアメリカ日本南リジョン
第31回リジョン大会



2017年4月20日(木)～21日(金)

於:ヒルトン福岡シーホーク

出席者 17名

九州各県から1262名のソロプチミストが集
いました。

21日は各委員会毎に分科会が開催され、そ
れぞの委員が担当の委員会で、他のクラブ
の会員との意見交換を行い学習をしました。

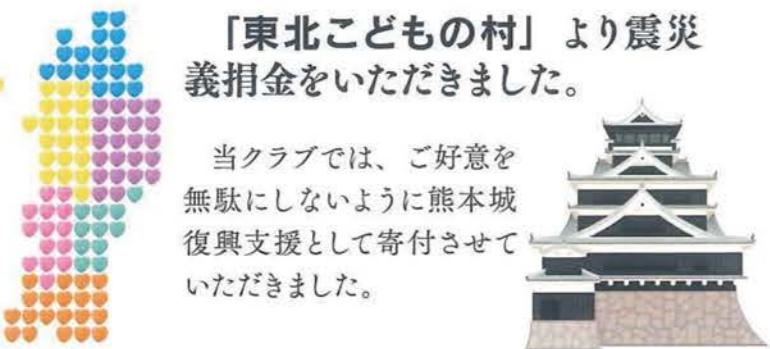
8年目の桜が
地震にもめげず咲きました。



ジェーンズ邸は崩壊しましたが、私たち
の記念樹の桜は健在です!!

(2017年4月19日撮影)

ありがとう 熊本地震 義捐金



「東北こどもの村」より震災
義捐金をいただきました。

当クラブでは、ご好意を
無駄にしないように熊本城
復興支援として寄付させて
いただきました。

第23期 理事会

会長	坂本 恵美子
第一副会長	出田 節子
第二副会長	松尾 妃都美
レコーディング セクレタリー	後藤 裕子
コレスボンディング セクレタリー	増田 俊子
トレジャラー	日隈 昌子
アシスタント トレジャラー	蔵原 由里恵
理事	藤原 美智子



一年間お疲れ様でした。

第24期 新理事会 紹介

会長	渡邊 桂子
第一副会長	藤原 美智子
第二副会長	小笠原 明子
レコーディング セクレタリー	中村 由美子
コレスボンディング セクレタリー	野尻 桂子
トレジャラー	藏原 由里恵
アシスタント トレジャラー	山崎 啓子
理事	坂本 恵美子

発行

2017年6月30日

国際ソロプチミスト熊本一さくら

会長／坂本 恵美子
広報委員会／松田ゆみ子 藤原美智子
渡邊 桂子 統 玲子
中尾 敦子

例会日時／毎月第3水曜日 10:00～13:00
例会場／ザ・ニューホテル熊本

Soroptimist International of Kumamoto-SAKURA

私たちの歩み No.19

2016年7月～2017年6月活動報告

がんばってます 熊本! *ちから
支え合う力 a friend indeed-*



会長挨拶

国際ソロプチミスト熊本一さくら

第23期 会長 坂本 恵美子

国際ソロプチミスト熊本一さくらは今期も「女性と女児の生活の向上」を課題として活動してまいりました。昨年4月に発生しました熊本地震からの復興も少しづつ進んでおりますが、まだまだ時間がかかりそうです。全国のソロプチミスト会員の皆様からは多大な義捐金を頂き感謝の気持ちでいっぱいございます。義捐金の使途につきましては、度々リジョン役員のメンバーと会合を開き、ひとり親家庭の高等学校進学準備支援金として220余名に

援助することができました。メンタル面での支援「ほっと・カフェ」「子育て支援セミナー」も実施する事が出来ました。私達の活動もどうにか平常心を取り戻し“夢を生きる賞”で日本南リジョン賞をヒルトン福岡シーホークの晴れ舞台で受賞することが出来ました。又、第2回“夢を拓く”を開催し、今年は中学生の参加も多く有り、夢に向かって進んでくれる事を期待しております。国際ソロプチミスト熊本一さくら独自のプログラムあります“夢を生きるさくらプロジェクト”は4回目を迎え、1度は諦めたパイロットの道をどうしても諦めきれず、チャレンジしている女性を表彰致しました。長年の夢であるパイロットになり、大空へ羽ばたいて欲しいと会員全員が応援しております。

6年前の3月11日東日本大震災発生時には“私たちに出来る支援は?”と会員で話し合いを重ね、「東北子供の村」への支援を致しました。被災地へ慰問に行なった会員もおられました。日頃からボランティア活動は「出来る人が出来るときに出来るだけの事を」と思い実行しております。その後、まさか熊本で大地震が起きようとは思いもせぬ、この度は私達が多くの方々に暖かい支援をいただきました。この一年間私どもの活動に多くのご協力とご援助を下さいました皆様に心から感謝と共に御礼を申し上げます。

ありがとうございました。

第4回 夢を生きる さくらプロジェクト

2017年2月17日

第四回受賞者様 於:ザ・ニューホテル熊本

国際ソロプチミスト熊本一さくらの設立認証20周年を記念して立ち上げたこのプロジェクトは、将来、社会においてリーダーシップを持ち、夢を実現しようと努力している女性にステップアップのための教育・訓練の助成金を給付して応援するものです。

今回贈呈させて頂いた方の将来の夢は、国際線のパイロットの道を走ることだそうです。

夢の実現に向けて頑張って下さい。

助成金贈呈式



夢の実現を応援します

国際ソロプチミスト熊本一さくら

<http://www.sik-sakura.com/>

検索

お気軽にお問い合わせ下さい

事務局 TEL:090-4772-0419

顕彰事業

ソロプチミスト日本財団
社会ボランティア賞クラブ賞
吉村 静代氏

学生ボランティア賞
熊本県立第一高等学校ボランティア同好会

クラブ賞贈呈式

2016年12月21日(水) 於: ザ・ニューホテル熊本

吉村氏は益城町まちおこし協議会を1994年に立ち上げ、秋津川清掃活動、木山神楽の継承など、ボランティアを組織的に運営しておられます。4月の地震で自宅全壊被害にも拘らず避難所でリーダーとして運営に力を注がれました。



▲吉村氏（写真右）第一高ボランティア同好会（左）

第一高校ボランティア同好会は、街頭募金活動、福祉施設でのボランティア、古城堀端公園清掃、熊本城マラソンボランティアなど幅広い活動をされています。

クラブ内表彰

2017年4月21日(金) 於: ヒルトン福岡シーサイド

夢を生きる賞



大海真衣さんは3人の子供さんを育て、歯科診療のアルバイトをしながら、歯科衛生士の資格を取得するという目標に向かって努力をされています。

大海さんは、今年度の南リジョン大会で日本南リジョン賞を受賞されました。



大海 真衣さん

12月例会にて3名の贈呈式を行いました。

第2回 「夢を拓く さくらパーティー」

夢を拓く 女子中高生のための キャリア・サポート

～女子中高校生のための
キャリア・サポート～

2017年3月27日(月) 於: パレアホール

参加生徒42名(高校生 28名、中学生 14名)
聾学校より数名



女子中・高生を対象に、夢を実現することを目的としたプログラムで、昨年に引き続き2回目を開催いたしました。
講師は昨年に続き松原理美会員

委員会紹介

●奉仕プログラム委員会（委員長：関 幸枝）

- 「さくらプロジェクト（さくら独自の活動）
 - 女子大学生、大学院生の研究資金への助成金給付（クラブ表彰 2月15日 50万給付）
 - 「夢を拓く-女子中高生のためのキャリアサポート」（パレアホール 3月27日開催）
 - 「夢を生きる賞-女性のための教育訓練支援」（クラブ表彰・リジョン大会にて表彰）
 - さくら奨学生-女子高校生への奨学金給付2年間
 - ユニセフ支援
 - ハピタット支援
 - 社会福祉法人わくわく支援
 - DV被害者支援
- 等々、女性と児童の生活を向上させることを目的に幅広く活動しました。

●財務・資金調達委員会（委員長：岡崎 尊子）

- さくらチャリティーバザー（2016年10月15日）



毎年恒例のチャリティーバザーを今年度も、びぶれす広場で開催しました。会員がそれぞれ持ち寄った石鹼やタオル、お茶や食品など市価の半額で、バッグやほとんど使ってない服などのリサイクル品も破格値で並びました。今年も、開始時間前からたくさんのお客様にお集まりいただき、好評でした。

●規約決議・SOLT委員会（委員長：野尻 桂子） 委員：森 由美子

SOLTとはSoroptimist Orientation and leadership Traningの頭文字です。会員が組織の成り立ちと使命を正しく理解し、会員としての自覚をもって奉仕活動をすること、また、使命達成のためのリーダーシップを、いつでもどこでも状況に応じて発揮することを目標としています。定例会合では『ミニSOLT』を、目標達成のために、リジョンからのツールやSOLTマニュアルを使って行いました。新入会員のためのオリエンテーションでは、委員会も歴代会員もソロプチミズムを改めて学びました。

●ソロプチミスト日本財団委員会（委員長：清家 純香）

11月8日の宮崎年次贈呈式に日帰りバスツアーで賑やかに参加しましたが、当クラブからの受賞者が無く、残念に思いました。

今期は、地震後も継続して活動し続けている素晴らしい団体との出会いがあり、12月の例会で、【学生ボランティア賞】に「第一高校ボランティア同好会」、【社会ボランティア賞】に「益城まちおこし塾」をクラブ表彰し、平成29年度の財団に推薦することができました。来期こそはと9月の結果が待ち遠しいです。



●メンバーシップ委員会（委員長：岡崎 尊子）

☆新しいメンバーを迎えました。



中尾 敦子さん

今年の7月で、入会1年を迎えることになります。例会に出席する中で活動内容や組織形態を理解することに努めているところです。日本のみならず世界の情勢がより複雑に変化していく中、「女性と児童の生活の向上」との視点で、どのように関わわれるのか考えていくべきと、思っております。国際ソロプチミストは歴史もあり、また、非常に規模の大きな組織ですので、少しづつ、理解を深めていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

いつも新入会員をお待ちしています(*'▽'*)

●広報委員会（委員長：松田 ゆみ子）

パソコンはメールしかできない私が、いきなりホームページ作成というプレッシャーに戸惑いました。何もかも手探りで、毎月行事の報告に頭を抱えながら奮闘致しました。おかげ様で「やればできる」を実感。ソロプチミストの活動を外から見る目を持った一年でした。

一年間がんばりました

